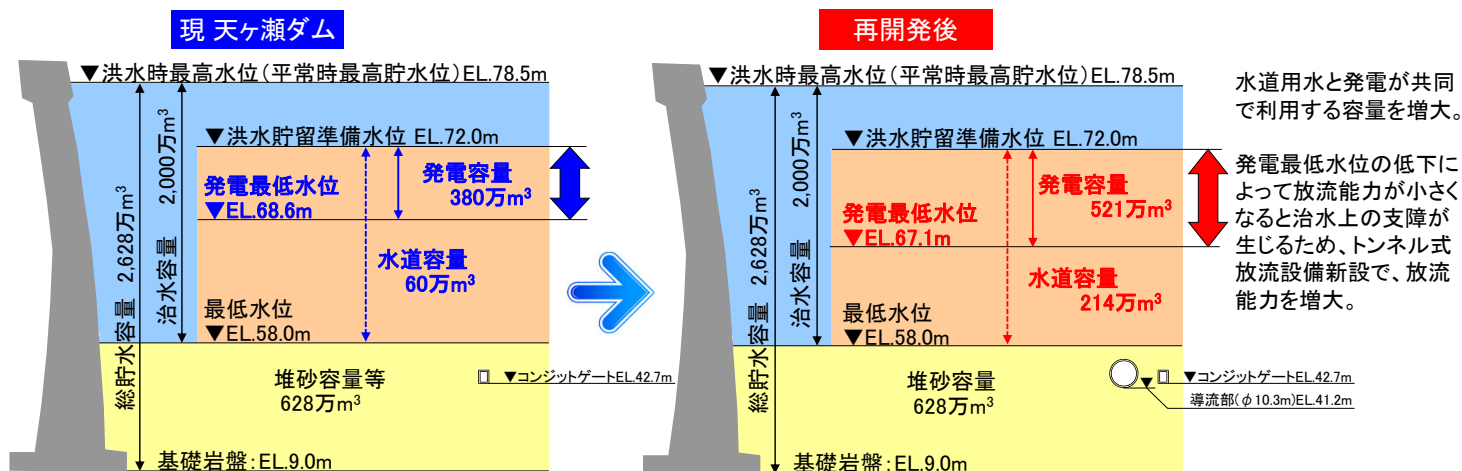


天ヶ瀬ダム再開発事業の背景と目的②：利水（水道・発電）

- ・ ライフスタイルの変化やクリーンエネルギーへの転換から、利水機能向上が求められています。
- ・ 効率的に貯水池を運用することで、水道用水の確保・発電能力の増強を図ります。

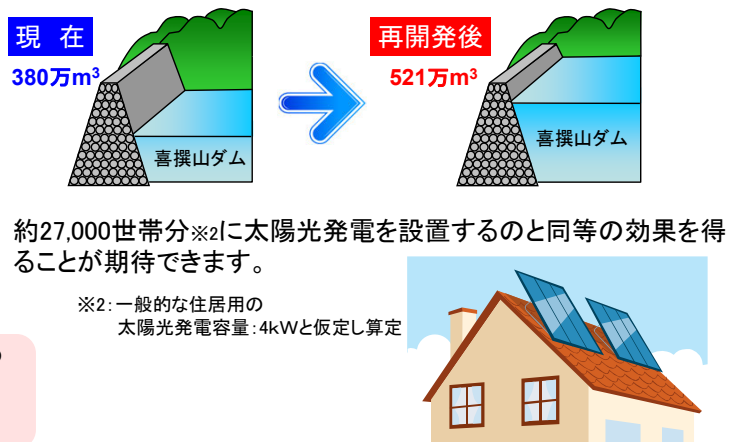
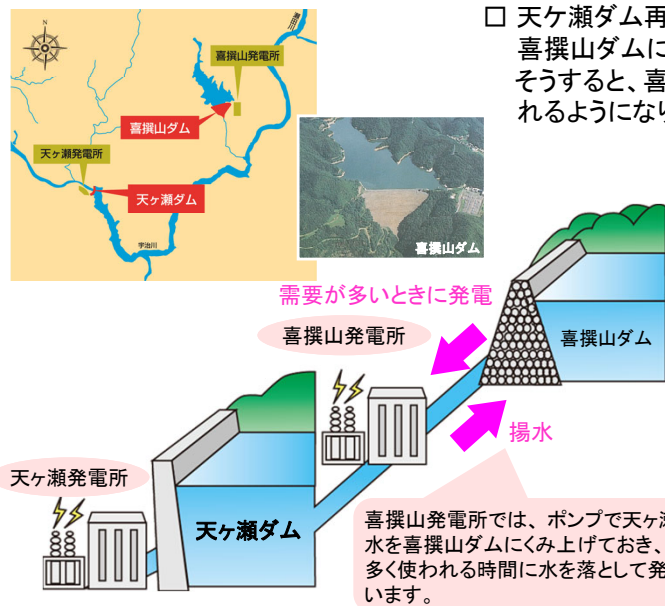
■ 効率的な貯水池運用

□ 天ヶ瀬ダム再開発事業によって、より効率的な貯水池運用を図ることができ、治水だけでなく利水に活用できる容量が拡大します。



■ 事業の目的②：利水（発電能力の増強）

□ 天ヶ瀬ダム再開発事業によって、洪水のおこりやすい夏場の期間にも、より多くの水を喜撰山ダムに送ることができます。そうすると、喜撰山発電所では(電力需要の多い)夏場においても安定した電力をつくれるようになり、新たに約110MW※1 (110,000kW)の電力の供給が可能となります。



■ 事業の目的②：利水（京都府の水道用水の確保）

□ 天ヶ瀬ダム再開発事業による貯水池運用の効率化により、洪水対策や発電に影響を与えることなく、より多くの水道用水を取水できるようになり、1日あたり51,840m³の水(約17万人分)を新たに安定的に供給することができます。

